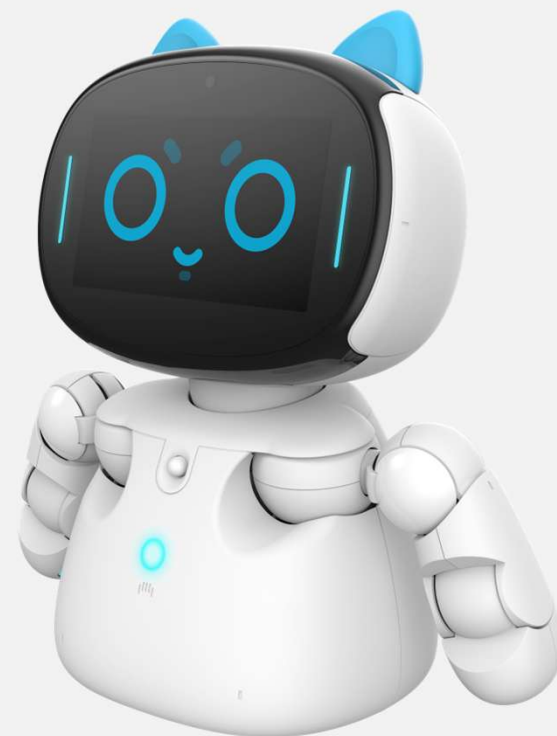




【2025年度トラック運送業のDX推進セミナー】

物流の未来を切り拓く

点呼制度の進化と、最新ソリューションによるDX化の実現



株式会社ナブアシスト ロジスティクス事業部 営業部 インサイド推進担当

本日のアジェンダ

- 1 ロジスティクスソリューションと3社連携イメージ
- 2 行政処分と点呼制度
- 3 自動点呼のポイント
- 4 点呼制度の活用パターン
- 5 導入事例

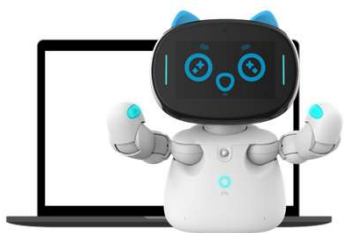


ロジスティクスソリューションと3社連携イメージ

ロジスティクスソリューション

運送現場の安全・効率化と、経営管理のスマート化をトータルに実現。
各業務が連携しあうことで、物流DXを加速させます。

点呼



点呼+

AI技術(顔認証)を用いた
ロボット点呼など、
用途に応じて選択できる
点呼システム

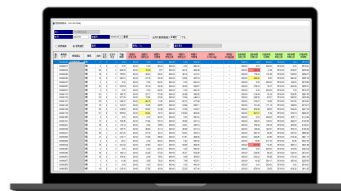
運行管理



ITP-WebService V3

富士通製デジタコ・ドラ
レコのデータをクラウド
で一元管理24時間365日
運行支援・管理が可能

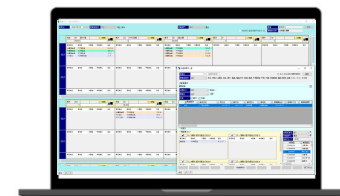
労務管理



Navisia乗務員時計

改善基準告示に対応した
リアルタイム労務管理
システム

販売管理



Navisia運送販売

運送業に特化した販売管
理システム受注・配車～
請求・収支分析まで一気
通貫で管理

安全指導支援機能

点呼＋と連携することで、安全指導の計画から実行・管理までをトータルにサポート。
業務負担を軽減するとともに、よりわかりやすくスムーズな指導が実現します！

点呼＋との連携メリット

確実な指導の実施



受講必須項目を点呼時に
リマインド！受け漏れを防止

適切な指導教育



顔認証で成りすまし受講を防止！
受講中の様子も写真で記録するから安心◎

マスタ登録の手間削減



点呼＋のマスタを使用し、
乗務員登録の手間を削減！

管理者の負担軽減



教材作り・スケジュール調整
から解放され、指導業務が
もっとスマートに◎

管理の一元化



指導計画・指導結果を
点呼結果と一元管理！

監査対策の強化



指導記録をクラウドに自動
保存。監査対策もバッチリ◎

デジタコ連携

富士通製デジタコ「ITP-WebserviceV3」と連携することで、運行実績の表示、運転日報・安全日報・違反情報の確認が可能。**運行管理者が不在であっても運行の振り返り**ができます。

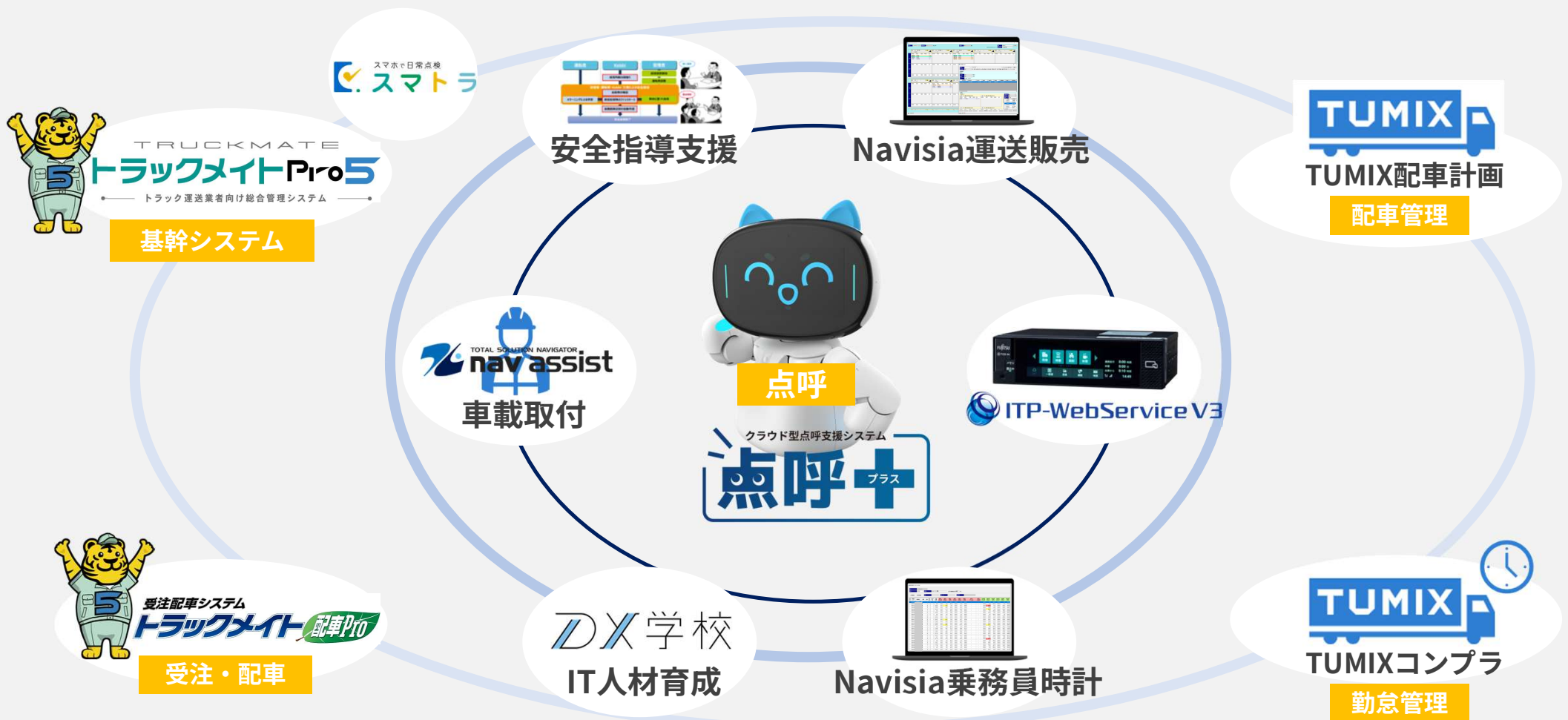


違反一覧 - 点呼 +

運行日：07/17 06:12~07/18 02:03 車両：00000189(189)

No.	違反内容	発生時刻	違反時間	違反地点	道路区分	乗降区分
1	速度超過	07/17 07:46	00:00:05	神奈川県	高速道	
2	速度超過	07/17 08:14	00:00:05	神奈川県	高速道	
3	速度超過	07/17 08:16	00:00:07	神奈川県	高速道	
4	エンジン回転オーバー	07/17 15:21	00:00:07	静岡県	一般道	
5	速度超過	07/17 23:40	00:00:09	神奈川県	高速道	
6	速度超過	07/17 23:41	00:00:05	神奈川県	高速道	

【物流DXの全体像】ソリューションマップ





行政処分と点呼制度

行政処分に該当する違反事項TOP 3

違反事項TOP3

- 1. 指導監督違反（1 2 項目の指導、安全指導等）
- 2. 点呼違反（点呼未実施、不備）
- 3. 過労防止等（改善基準告示違反 等）

監査実施件数と行政処分件数

	令和元年	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
監査実施件数	510件	398件	365件	447件	428件
行政処分件数	287件	184件	198件	168件	197件

監査における違反事項の構成

違反事項	件数
指導監督	349
点呼	255
過労防止等	237
運行管理	51
業務記録	100
定期点検	93
整備管理	40
運行記録計による記録	81
運行指示書による指示等	27
Nox・PM法違反・不正改造等	0

※出典：貨物自動車運送事業の行政処分等の概要（令和5年度）

点呼制度

	E T 点呼（従前の取扱い）		遠隔点呼	自動点呼
詳細	Gマークあり	Gマーク同等	新制度	新制度
条件	Gマーク （点呼実施、 被点呼側双方に必要）	優良事業所 ・開設3年経過 ・3年間無事故（報告規則2条該当事故） ・3年間無違反（警告以上の違反） ・巡回指導「D,E」以外、点呼項目「適」 （指摘受けても3ヶ月以内に改善できれば可）	一定要件の機器、施設環境 一定の運用遵守事項 ・生体認証での個人識別 ・情報共有の確実性 （指導監督記録、運転者台帳、労働時間等） ・高度な点呼機器、システム	認定機器使用 一定要件の施設環境 一定の運用遵守事項 生体認証での個人識別 （ALC測定直前か測定中も必要）
点呼時間 24H可能	営業所とその車庫間 営業所の車庫と当該営業所の他の車庫間		営業所と当該営業所の車庫間 当該営業所の車庫と当該営業所の他の車庫間 営業所と他の営業所間 営業所と他の営業所の車庫間 営業所の車庫と他の営業所の車庫間 営業所とグループ企業の営業所間 営業所とグループ企業の営業所の車庫間 営業所の車庫とグループ企業の営業所の車庫間 営業所/車庫と事業用自動車内/待合所/宿泊施設等	営業所 車庫 事業用自動車内/待合所/宿泊施設等 ※条件付き 事故やアルコール検知された場合など 非常時は営業所で認められた点呼に 切替て対応。 責任は事業者・運行管理者が負う
点呼時間 連続16H迄	営業所と他の営業所間 営業所と他の営業所の車庫間	-	-	-
結果の扱い	対面点呼と同等（管理者・補助者のカウントは点呼実施者の属性に依存）			対面点呼と同等（管理者）
実施条件	実施予定の10日前までに運輸支局長等に報告書の提出		実施予定の10日前までに運輸支局長等に 届出書 を提出 ※ 事業者間遠隔点呼 ：運用開始の 2か月前までに 「 事業者間遠隔点呼に係る業務の管理受委託許可申請書 」を提出	
方法	疑似対面（業務前・業務後）		疑似対面（業務前・業務後）	自動（業務前・業務後）

点呼制度

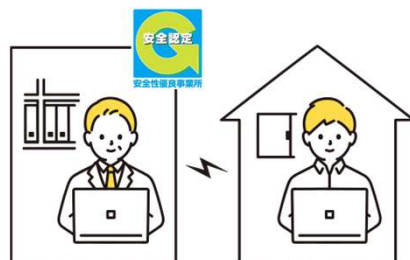
国土交通省は2025年4月30日に「令和7年国土交通省告示第347号」を出し、一定の要件を満たした「自動点呼機器」による「業務前自動点呼」の制度化を決定しました。

対面点呼



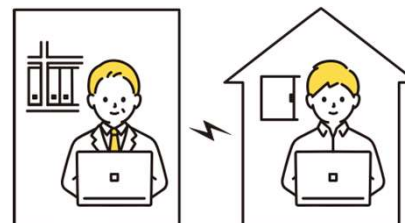
運行管理者または補助者が
対面にて点呼を実施。

IT点呼



営業所と車庫間等でビデオ
通話にて実施。
Gマークや**Gマーク相当**の
条件を満たした**事業所のみ**
実施可能。

遠隔点呼



IT点呼同様にビデオ通話
にて点呼実施。
事業所の**優良性を問わない**
が、各種要件を満たす必要
がある。

自動点呼



機器、システムが点呼を実施。
各種要件を満たす必要がある。
非常時の体制確保が必須。



自動点呼のポイント

点呼+で実現できること

点呼+プラットフォーム

ロボット版 Kebbi



デスクトップ版

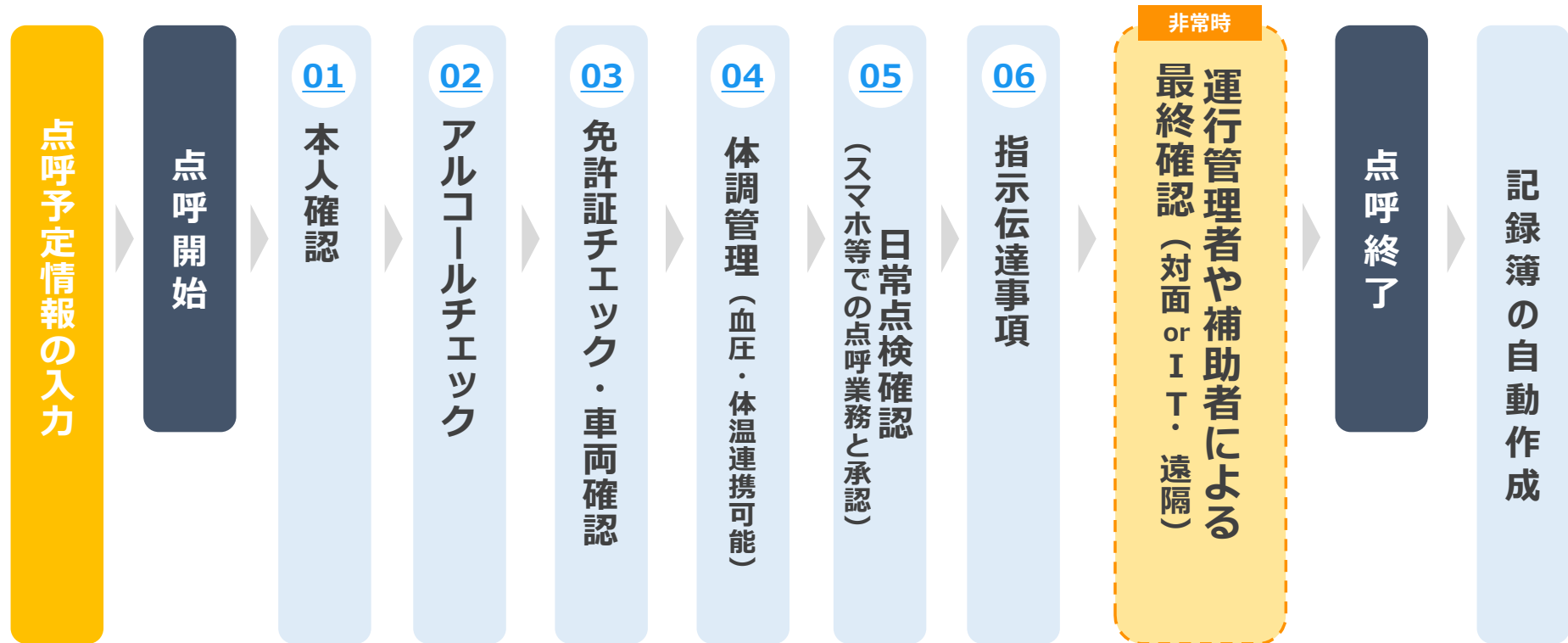


モバイル版



対面、IT、遠隔、自動、出先での点呼 ... **全ての点呼データを一元管理！**

業務前自動点呼の流れ



業務前自動点呼制度

✓ 主な追加要件

- ✓ 体温計、血圧計の連携
- ✓ 点呼予定の登録
- ✓ 機器システムによる点呼の中断



■国土交通省 運行管理高度化検討会のサイト
(業務前自動点呼の実施に関する情報が記載されています)

https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk2_000082.html

出典：国土交通省

体温計・血圧計

- ✓ 点呼システムと**直接データ連携**できる機器必須
測定した結果を**手動入力NG**
- ✓ **運転手ごとに平常値、異常値**の設定
異常判定する値は事業者判断で設定可能
⇒設定した異常値以上、もしくは以下の値を検知した場合、「**点呼中断**」となります。

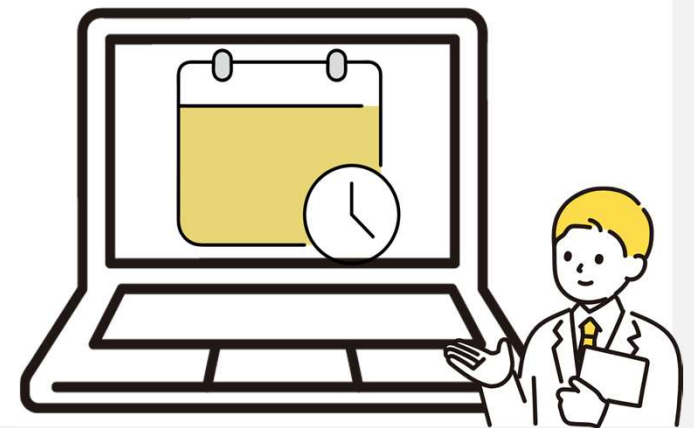
例) 体温計：平常値：36.5℃ 異常値：37.5℃以上
血圧計 平常値：最高血圧 120 最低血圧 80
異常値：最高血圧 140以上 100以下
最低血圧 100以上 60以下

- ✓ 測定時の留意点として、**心臓の高さ**に合わせて測定する必要あり

業務前自動点呼制度

点呼予定登録

- ✓ **自動点呼実施前に点呼予定の登録必須**
運行ごとに作成する必要あり、点呼予定の使いまわしNG
- ✓ **登録必須項目**
 - └ 運転者名
 - └ 実施予定日時
 - └ 自動点呼の責任者名（運行管理者のみ可/補助者不可）
 - └ 運行に携わる指示事項
- ✓ 自動点呼を実施し、**測定結果NG**で**点呼中止**になった場合、
点呼予定を**再度登録**する必要あり
※点呼予定を再登録する場合、**自宅からでも登録可**



アルコール検知・日常点検異常の場合

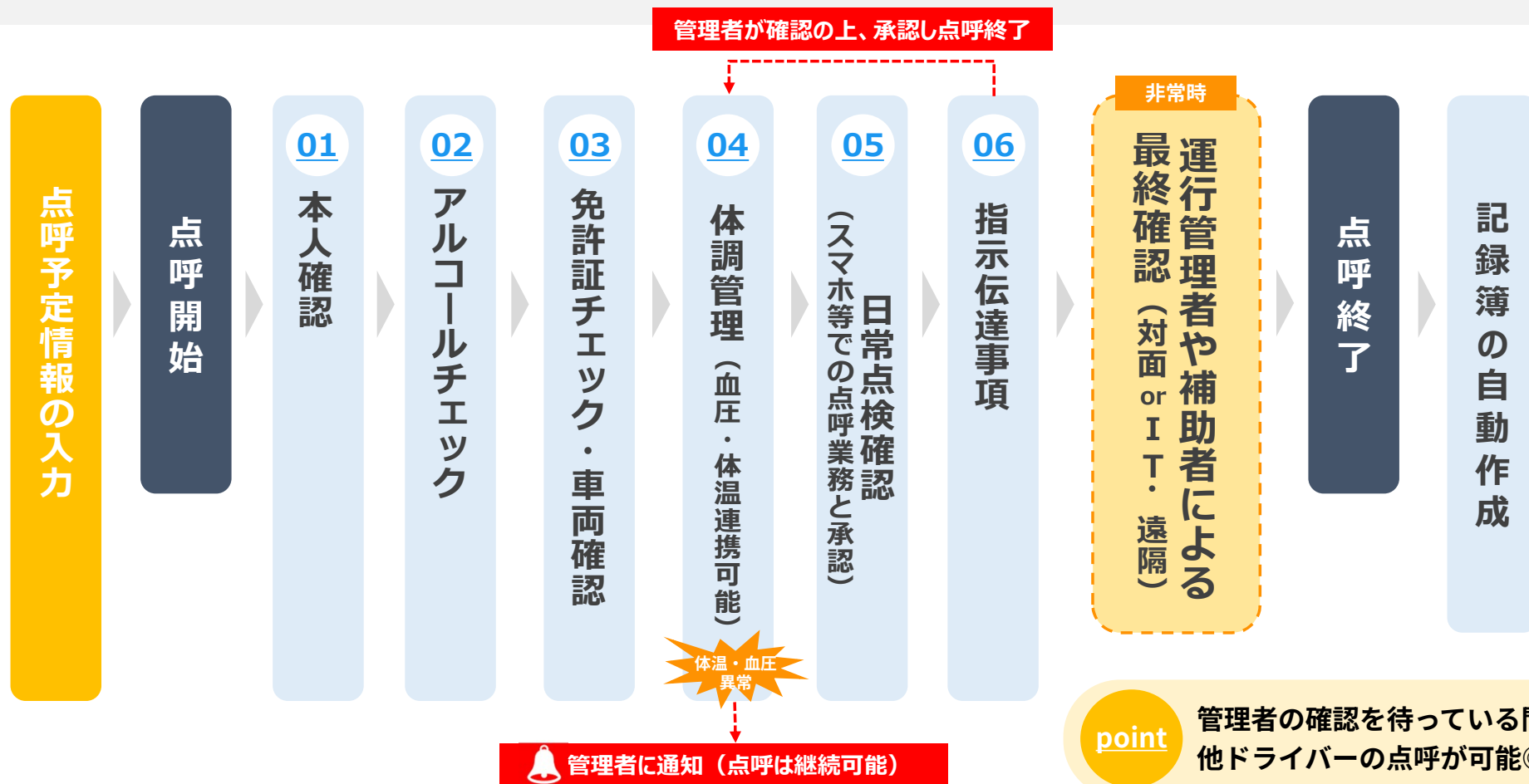


血圧・体温異常の場合



血圧・体温異常の場合

点呼+での運用





点呼制度の活用パターン

点呼制度の活用パターン

Case① 24時間稼働

活用方法



担当者が常駐しており、点呼異常等、不測の事態に柔軟に対応している。

Case② 複数拠点

活用方法



本社の管理者が営業所の遠隔点呼を管理し、本社では自動点呼を実施することで人的リソースを最適化。

Case③ 日帰り運行メイン

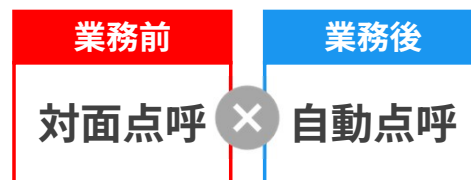
活用方法



業務前自動点呼を実施することで、早朝の管理者負担を軽減している。帰庫時は対面点呼でドライバーのケアを実施。

Case④ 高齢ドライバー多

活用方法



業務後は自動点呼で管理者の負担を軽減しつつ、健康面での配慮が特に必要であるため業務前点呼は対面で実施。



導入事例

【導入事例】遠隔点呼×自動点呼

点呼方法

業務前：遠隔点呼

業務後：自動点呼

会社情報



一般貨物自動車運送業



524名



14拠点



431台

導入背景・課題

- ✕ 拠点毎に管理者の配置人数に差があり、シフト調整が難航
- ✕ 帰庫が集中する時間帯に点呼待ちが発生している
- ✕ 自動点呼制度を活用したいが、不安があった

運用上の注意点



事業者間遠隔点呼を行う場合、申請してから運用開始まで**2か月以上かかる**

遠隔点呼特有の確認事項がある

遠隔点呼を行う場合、管理者側で被点呼実施側の状況を**リアルタイムに確認する必要がある**

導入効果

- ✓ 一部の拠点が遠隔点呼をまとめて管理することで、管理者の**シフト調整が楽**になった
- ✓ 少人数でも**安定した運行管理**が実現
- ✓ スムーズな点呼で**点呼待ちが解消**
- ✓ 業務前をあえて遠隔点呼にすることで、**安心して導入**を進めることができた
- ✓ 自動で点呼記録簿が作成されるため、**誤記載がなくなった**
- ✓ 点呼時の映像が記録されることで、**ドライバーの意識が高まった**

お問い合わせ先

ご清聴ありがとうございました。

お電話でのお問い合わせ

株式会社ナブアシスト
ロジスティクス事業部（直通番号）

027-372-3452

8:30～17:30
(土日祝・年末年始を除く)

WEBからのお問い合わせ



URL : https://www.nav-assist.co.jp/products/product_contact/

必要事項を入力の上、お問い合わせください